

まちづくり課

- 新規評価箇所検討一覧表（BBB 評価以上）
…P1
- 新規事業概要
 - ・ 街路事業 …P2
- 公共事業新規評価調書（整備系） …P3

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	総事業費 (百万円)	公・ 車	完成 予定 年度	重要施策との関連性 (他事業との関連含む)	新規評価に至った経緯
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置 づけ	必 要 性 ・ 効 果	実 施 環 境						
	街路	生活関連	街路整備交付金事業（資本整備交付金） まちなかウォークアップ推進事業補助	鹿島駅組知線ほか1路線	鹿島市		高津原	街路整備 L=220m W=16m	A	A	A	I	1,150	公	R11	県土整備部基本方針に位置づけられている 県の都市計画マスタープランに位置づけられている。	本路線は、都市計画区域マスタープランにおいて商業・業務拠点として位置づけられている肥前鹿島駅周辺に位置する重要な都市計画道路である。県と鹿島市が一体となり肥前鹿島駅とその周辺を「鹿島・太良地域らしさを感じられるわざわざ訪れたい交流拠点」として整備を予定しており、当該区間もその範囲に含まれる。このため、整備区間において交通の秩序化を図り、歩行者・自転車利用者の安心・安全な走行空間を確保しつつ、歩道空間の活用による賑わいの創出を図る必要性が高いため。
	街路	生活関連	街路整備交付金事業（資本整備交付金）	八谷瀬駅前線	伊万里市		立花町	街路整備 L=250m W=18m	A	B	B	II	520	公	R13	県の都市計画マスタープランに位置づけられている。	当該区間は、税務署や図書館、高校等が隣接している中心市街地に位置しているが、歩道が無い若しくは狭小であり、歩行者の安全確保が求められる。このため、歩道を整備することにより、児童・生徒をはじめとする歩行者・自転車利用者の安心・安全な走行空間の確保を図る必要があるため。

街路整備事業

県土整備部 まちづくり課

1

街路整備事業とは...

- 街路整備事業は、計画的なまちづくりを行うために定められた都市計画道路の内、主として市街地とこれに隣接する地域において行うもので、活力ある都市づくり、安全で安心できる市街地の形成を目的としている。

リンク（通行）機能
人やモノが移動するための機能



公共交通・乗用車・貨物車・自転車・
徒歩等で目的地までの移動が行われる

プレイス（滞在）機能
多様な活動を繰り広げる場としての機能



立ち止まる・座る・食べる・遊ぶ・
買い物をする・パフォーマンスを行う等
の活動が行われる



2

公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部 名	県土整備部	記 入	まちづくり課	課 長	天本 貴子
		責任者	杵藤土木事務所	所 長	伊賀屋 豊

事業区分	街路事業 (生活関連事業: 空間再編)	事業名	地区名等	総事業費	1,150 百万円 (事務費込み)
		街路事業	都市計画道路 鹿島駅組知線・鹿島 駅城内線		
事業地			着工予定年度		完成予定年度
鹿島市駅大字高津原			令和7年度		令和11年度
事業目的			事業内容		
本路線は、都市計画区域マスタープランにおいて商業・業務拠点として位置づけられている肥前鹿島駅周辺に位置する重要な都市計画道路である。県と鹿島市が一体となり肥前鹿島駅とその周辺を「鹿島・太良地域らしさを感じられるわざわざ訪れたい交流拠点」として整備を予定しており、当該区間もその範囲に含まれる。このため、整備区間において交通の秩序化を図り、歩行者・自転車利用者の安心・安全な走行空間を確保しつつ、歩道空間の活用による賑わいの創出を図るものである。			事業延長 L = 2 2 0 m 道路規格 第4種第3級 道路幅員 W = 7. 0 (1 6 . 0) m 歩道幅員 W = 3. 5 m × 2 (鹿島駅城内線) 		

評価	AAA	条件等
判断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
大気汚染について配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用) バリアフリーに配慮している事項(点字ブロックの設置、スロープ状(0cm～2cm)縁石の設置)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用 コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

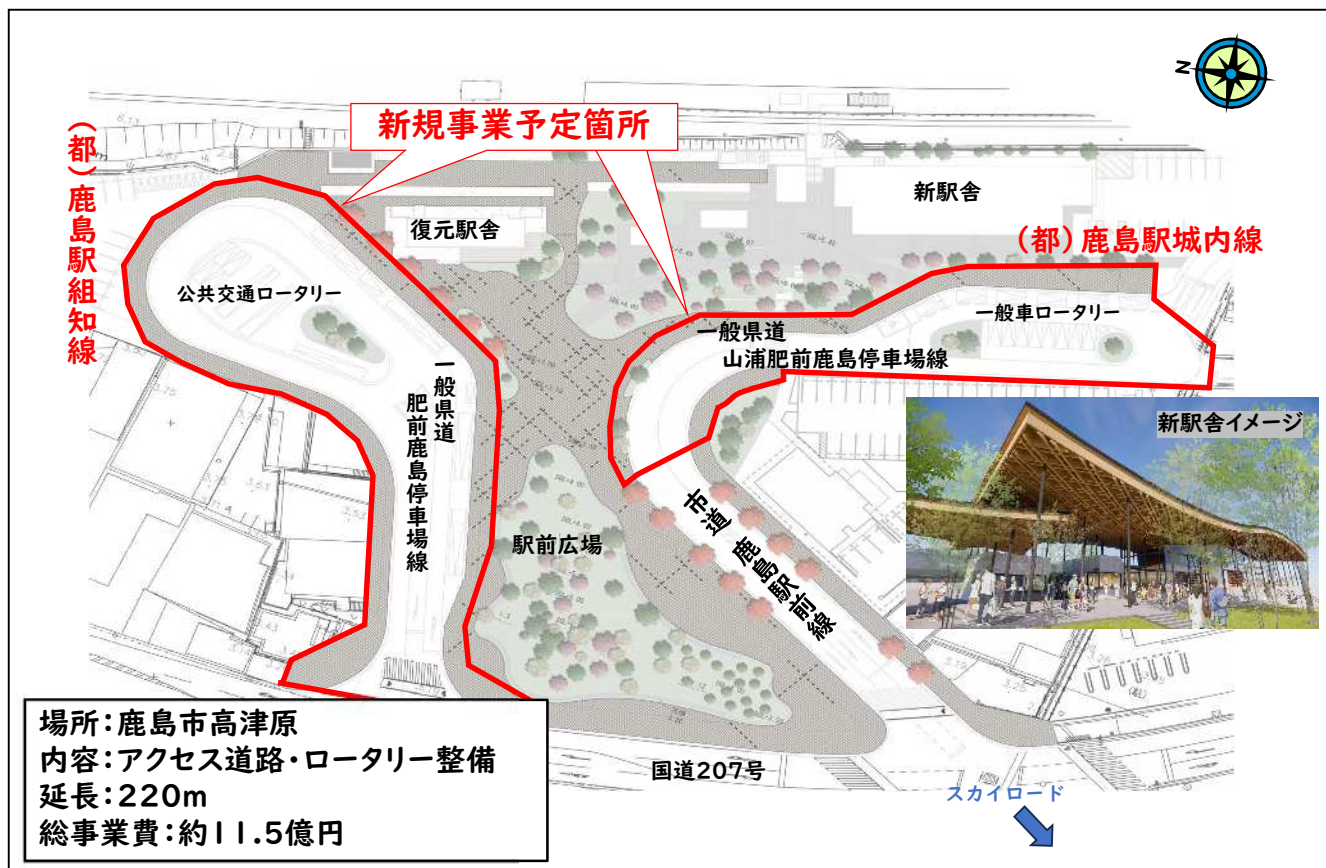
※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容

※ 特に記述することがあれば記載。

【街路事業：都計道路整備】（都）鹿島駅組知線ほかⅠ路線



1

（都）鹿島駅組知線ほかⅠ路線（鹿島市高津原）

肥前鹿島駅のロータリー及びアクセス道路の整備を実施



（現況）

12100				
1100	4500	4500		
	1000		1000	

（計画）

20500						
3500	500	3000	3000	3000	3500	4000
		右折車線			バス停車帯	

【事業概要】工期：R7～R11（5ヶ年）

総事業費：約11.5億円

整備内容：歩道整備・滞在空間創出

延長：L=220m 幅員：W=13.0(20.5)m

2

公共事業新規評価調書(整備系)

本部名	県土整備部	記 入	都市計画課	課 長	天本 貴子
部 名		責任者	伊万里土木事務所	所 長	桑原 隆浩

事業区分	街路事業 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費	520 百万円 (事務費込み)
		街路事業	都市計画道路 八谷搦駅前線		
事業地			着工予定年度		完成予定年度
伊万里市立花町			令和7年度		令和13年度
事業目的			事業内容		
<p>本路線は、伊万里都市計画区域の中心に位置し、伊万里市中心市街地を東西に横断する重要な幹線道路である。</p> <p>当該区間は、税務署や図書館、高校等が隣接している中心市街地に位置しているが、歩道が無い若しくは狭小であり、歩行者の安全確保が求められる。</p> <p>このため、歩道を整備することにより、児童・生徒をはじめとする歩行者・自転車利用者の安心・安全な走行空間の確保を図るものである。</p>			事業延長	L = 2 5 0 m	
			道路規格	第4種第3級	
			道路幅員	W = 9 . 0 (1 8 . 0) m	
			歩道幅員	W = 4 . 5 m × 2	
			用地買収	A = 1 , 1 5 0 m ²	
			家屋補償	n = 8 戸	
評価の視点		評価内容			評価
(1)位置づけ		県土整備部基本方針(街路等の計画的な整備に該当) (10/10 点)			A (80 点)
		・都市計画マスタープラン (県の都市計画マスタープランに位置付けあり) (40/40 点) ・都市計画道路の種類(幹線街路) (10/20 点) ・地域の課題への貢献度(バス路線、伊万里図書館、伊万里中学校) (20/30 点)			
(2)必要性・効果		・費用対効果(B/C) (1.06) [1.0 以上 2.0 未満] (30/40 点) ・歩行者・自転車等の交通量(歩行者 255 人/12h、自転車 141 台/12h) [歩行者 500 人/日未満かつ自転車 500 台/日未満] (0/10 点) ・歩行者・自転車道の設置状況(設置されていない) (10/10 点) ・幅広歩道自転車道の整備(3m 以上～6m 未満で整備する) (10/20 点) ・電線類地中化等計画(地下埋設物(上下水道)計画あり) (10/20 点)			B (60 点)
(3)実施環境		・県民・市民との協働(要望に配慮した事業) (20/30 点) ・まちづくりへの取り組み状況 (まちづくりのイメージが策定されている) 伊万里市都市形成戦略 (20/40 点) ・地元関係者等の合意形成状況 (事業化に対する認識が高い) (20/30 点)			B (60 点)

評価	ABB	条件等
判断	II	
	事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
大気汚染について配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用) バリアフリーに配慮している事項(透水性歩道舗装の採用、点字ブロックの設置、スロープ状(0cm～2cm)縁石の設置)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用 コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容

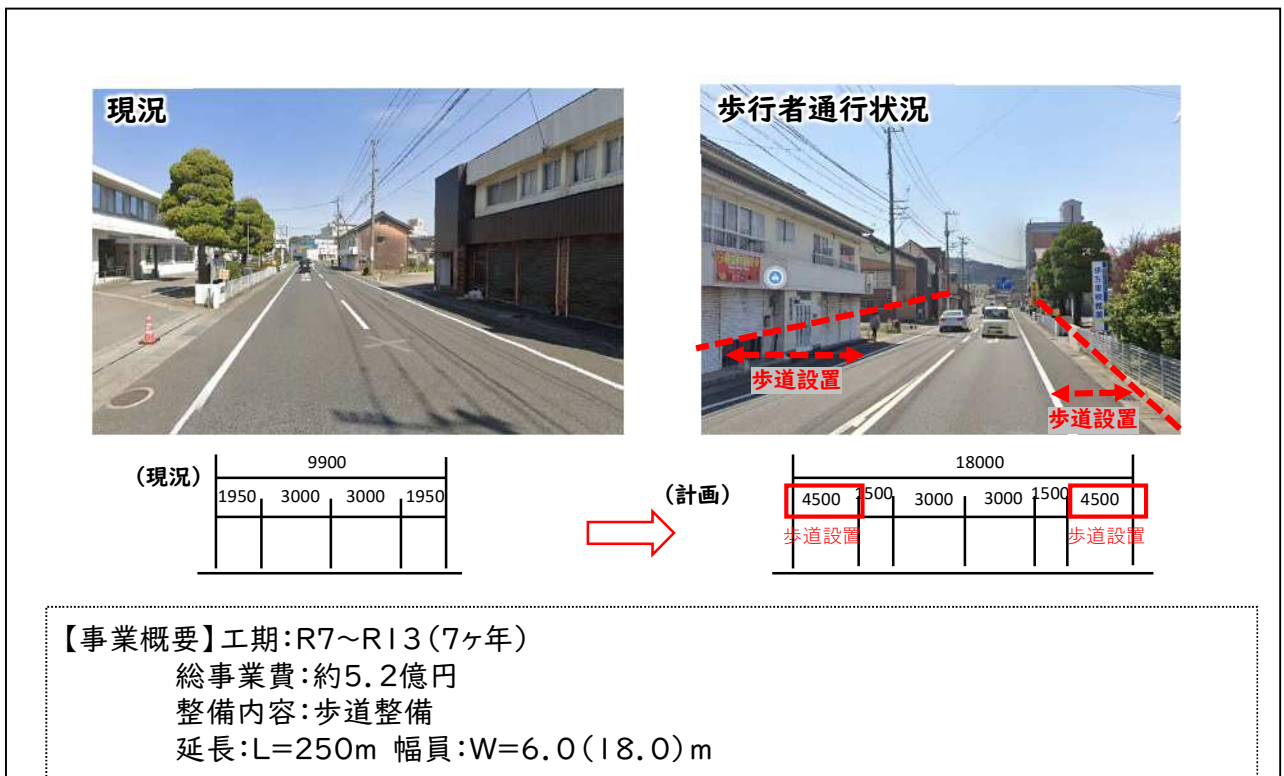
※ 特に記述することがあれば記載。

【街路事業】(都)八谷搦駅前線[3工区]



(都)八谷搦駅前線[3工区](伊万里市立花町地内)

伊万里駅北側街路の歩道整備を予定



新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

様式2
担当課 まちづくり課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
1	街路	生活関連	街路整備事業	(都)佐賀駅下古賀線(城内工区)	佐賀市		城内	街路整備 L=600m	—	—	C	Ⅲ	各種調査が不十分、地元調整未了のため
2	街路	生活関連	街路整備事業	(都)泉山大谷線(2工区)	有田町		上幸平	街路整備 L=120m	—	—	C	Ⅲ	各種調査が不十分、地元調整未了のため
3	街路	生活関連	街路整備事業	(都)佐賀駅下古賀線(駅前交番～郵便局前)	佐賀市		中央本町	街路整備 L=1.2km	—	—	C	Ⅲ	各種調査が不十分、地元調整未了のため